

調布駅前広場のバリアフリー対応に向けた意見交換会の結果報告

(1) 実施概要

令和7年度に整備完了予定の調布駅前広場について、現在工事中であり、駅前広場内での移動や利用の安全性、利便性に関して、利用者からのご意見が多数あることから、当事者参加による駅前広場のバリアフリー対応に向けた意見交換会を実施しました。

表 実施概要

実施日時	令和7年1月29日(水) 【現地確認】9:30～10:30 【意見交換】10:30～11:30
実施場所	【現地確認】調布駅前広場 【意見交換】調布市文化会館たづくり1階 むらさきホール
参加者	【協議会委員】8名 【事務局】14名
意見交換会の議事	ア 調布駅前広場工事の状況説明(説明:まちづくり推進課) ・工事の進捗状況 ・今後の工程 ・現在の安全対策 イ 意見交換(進行:交通対策課) (ア) 本日の現地確認での気づき (イ) その他気になる点



写真 当日の現地確認の様子

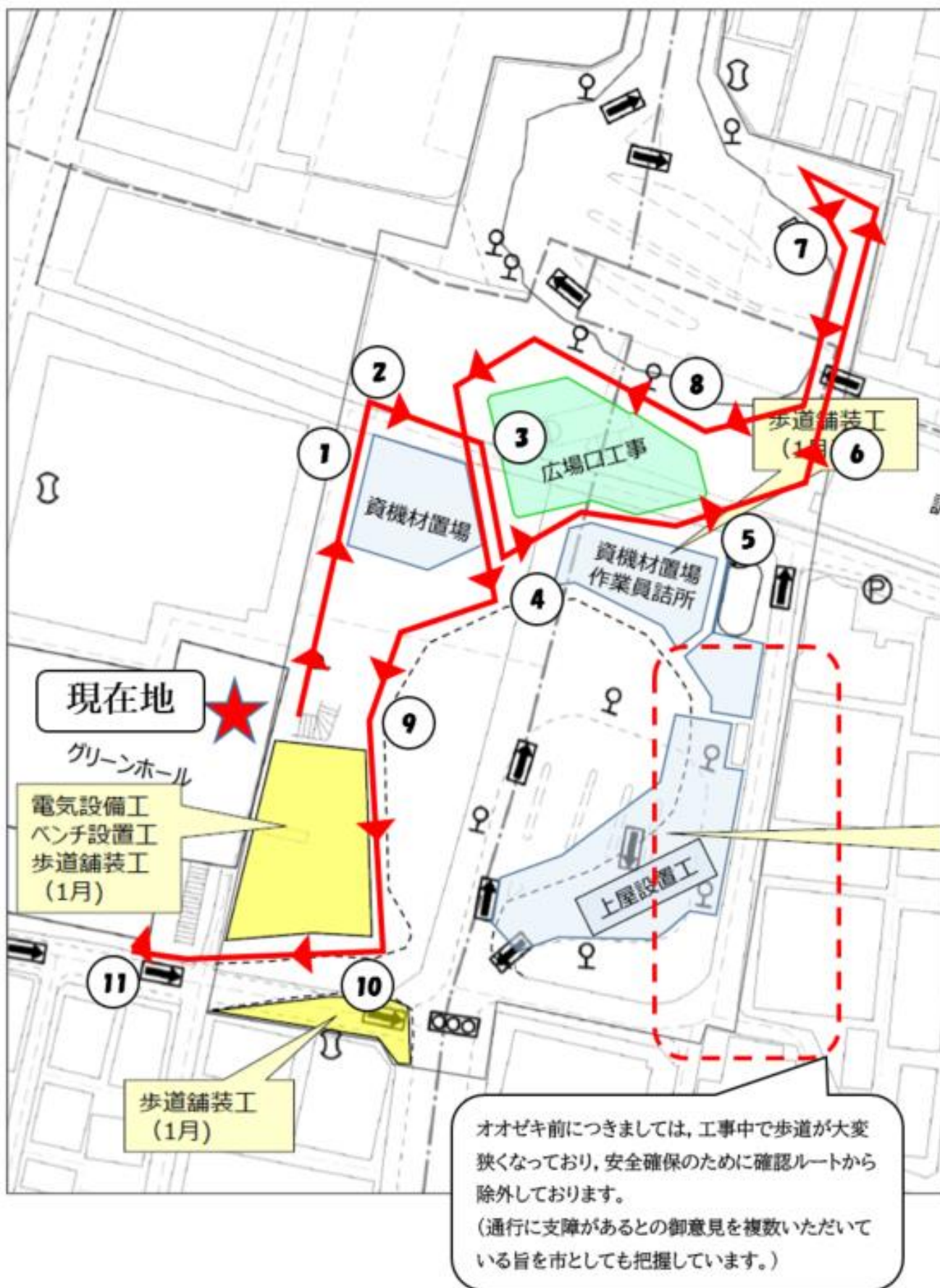


図 現地確認巡回ルート

(2) 意見交換会での主な意見と対応

意見交換会でいただいた主な意見と対応を以下に整理します。

なお、対応の項目は、＜速やかに対応＞、＜継続して対応＞、＜今後対応＞、＜対応済み＞に分類しています。

表 実施概要

場所	主な意見	対応
①南北通路 	【有効幅員の確保】 ● 一直線に柵が並んでいた時、視覚障害者誘導用ブロックに近すぎて歩行の妨げになっていた。配置の趣旨は理解できたが、今後も誘導用ブロック周辺の安全な通行空間の確保を継続してほしい。	【交通対策課】 ● ＜継続して対応＞ 引続き、広場内にバリケード等を配置する際は、安全な通行空間を確保します。
②パルコ側動線 	● 当日意見なし。	
③駅エレベーター周辺 	【音声案内の改善】 ● 広場口のエレベーターについて、音声案内が音割れして聞き取りにくい状態である。以前は音声案内があること自体を評価したが、この音質では聞き取れない人もいる。 【わかりにくい案内表示】 ● エレベーターやエスカレーターの位置をもっとわかりやすく示してほしい。文字だけでなく、色使いを工夫するなど、視覚的にわかりやすい表示が必要。	【まちづくり推進課】 ● ＜速やかに対応＞ 案内表示・音声を改善します。
④視覚障害者誘導用ブロック敷設状況	【敷設方法の改善】 ● けが人が出ないように配慮をお願いする。松葉杖や車椅子の人、ひざを痛めている人など、何かの拍子でつまづくことのないように敷設してほしい。誘導用ブロックではない方法を考えてもよいのではないかと。ガムテ	【まちづくり推進課】 ● ＜今後対応＞ 古いルートと新設ルートが混在しているため、新設ルートに切り替え

場所	主な意見	対応
	ープ張りのところも多く,改善要望を出しても,そこがまた工事個所になっていく。どうしたらいいのかしっかり考えていかないといけない。 ● シルバーカーや杖使用者,ベビーカーを押す人にとって,このガタガタは本当に危険。工事完了まであと1年以上あるが,この状態をどう改善していくのか,具体的な対策を示してほしい。	て管理していきます(巻末資料参照)。
⑤東西ルート 	【安全な通行空間の確保】 ● 障害のない自分でもかなり迷うし,路面の凸凹がひどいと感じた。予測できず,気をつけようがない路面状況である。工事中だから仕方ないと思っていたが,市もそのように考えているのではないか。安全な場所を確保してから整備するという考え方が必要と感じた。事故が起きる前にやってほしい。つまりいて骨折する人がいる可能性がある。工事個所が変わっても,安全なルートの確保を計画的に進めていけばよいと思う。 ● 調布駅から降りると交番があり,オオゼキ方向へ向かう道がある。雨が降るとこのあたりで水たまりが発生し通行が困難。飛び越えようとして転んだ人を見たことがある。特に対策が必要と感じている。 【誘導用ブロックの敷設方法の改善】 ● 誘導用ブロックの敷設方法が適切でない。マンホール付近に点状ブロックが4枚あり,曲がることを示しているが,135度くらいの曲がりであれば線状ブロックのままで続けた方がよい。点状は屈曲点や施設,危険があることを示す。少しの曲がりではわざわざ視覚障害者を立ち止まらせる必要はない。	【まちづくり推進課】 ● <今後対応> 舗装工事及び定期巡回を行います。 ● <対応済み> 曲がり部分の点状ブロックは線状ブロックに変更しました。

場所	主な意見	対応
⑥中央口エレベーター 	【わかりやすい案内表示】 ● まずトリエのビルが中央口であることがわからない。非常に高い位置に「調布駅」と書いてあるが、視線より高い位置にあり認識しにくい。京王電鉄(株)と協議して、駅へ向かうエレベーターであることをはっきり案内してほしい。 ● 解決策になるかわからないが、案内できる職員が立って人的支援で誘導してもよいのではないか。最近是人による案内が少なくなっている。人手不足と言われるが、関係する人が巡回しているような体制が取れば解決すると思う。 ● サインは壁か床かその両方かの設置が考えられる。交渉する相手をはっきりさせて市が推進しないと解決しない。「中央口」の方向を工事囲いに線で示すなど工夫をするとよい。 ● 「中央口」という表記がないように思う。京王電鉄にとっても中央口がわかりやすい方が当然よいはずであるため、建設的に議論してほしい。 ● サポートする人が一人でも立っていれば安心。自転車啓発の警備員が3名いるとのことだったが、誘導する人も配置できないか。バス停が変わっていく状況もわからない。市報等で案内しているかもしれないがサポートがいるとよい。 ● 警備員も立っているだけで声掛けもしていない。効果が疑問。声掛けをしてもよいのでは。自転車が押し歩きの場合でもどこを歩いていいのか非常に迷うので、通行していい場所を示せるとよい。 ● 私は視覚障害だがほとんど体感で	【まちづくり推進課】 ● <速やかに対応> 中央口エレベーターまでの案内を表示します。 ● <今後対応> エレベーターの表示についてはトリエと調整します。

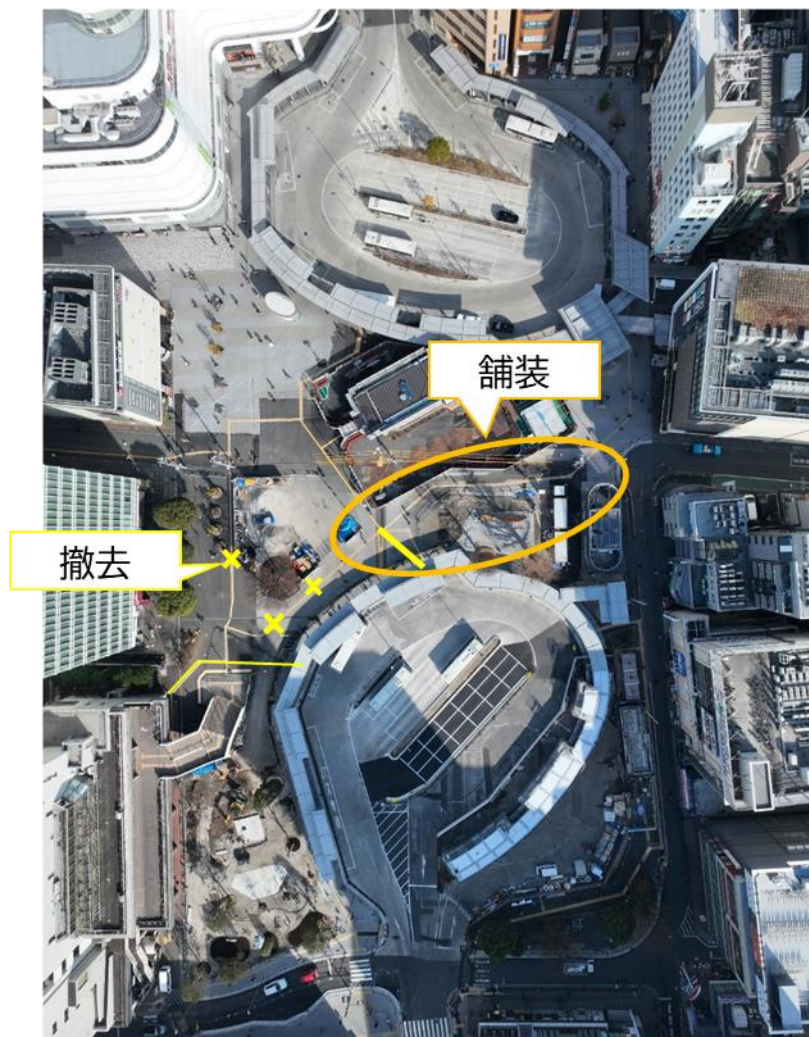
場所	主な意見	対応
	動いている。ガイドヘルパーが案内を見て判断できるようになるとよい。西武公民館に行こうとした友達が④番バスがわからず人に聞きながら何とか乗れたと聞いた。バス停が変わっていくことで困っている。工事の有無にかかわらず案内の人がいると安心。	
⑦北口バス停周辺 	【バス停の位置, 誘導用ブロックの改善】 ● 三鷹行きのバス停は, バス停に向けた誘導用ブロックが敷設されていなかった。また, 今後もバス停が移設されるのか確認したい。バスを降りて駅へ向かう人が多いので, バス停に向かう人は人の流れに逆らうことになる。雨に濡れてもいいから, バス待ちとぶつからない誘導用ブロックの敷設にしてほしいと伝えたが, 対応されていなかった。 ● 誘導用ブロックの敷設方法について, 何列も太く設置している箇所があり, 視覚障害者はあれで使いやすいのか疑問。つまりしやすい人もいる。適切な敷設となっているか確認し意見を出せる機会があるのか。このまま敷設されてしまうのかが不安である。 ● バス停が臨時であることはわかるが, いつまで続くのか。臨時だから仕方ないということではなくいつまで続くのか示してほしい。本設だから仕方ないではなく, 列が重ならないような対策は打ってほしい。 ● 動線が交差するところでは, 誘導用ブロックを 30cm くらい部分的に切り取ってシルバーカーなどが平坦な部分を選べることを考えてもよい。実験では 90cm くらいはつながってい	【まちづくり推進課】 ● <対応済み> 仮バス停への誘導用ブロックを設置しました。 ● <今後対応> 北側の仮バス停は, 広場口建替工事及びロータリー上屋改修工事が完了した後に再移設する予定です(R7 年度中)。

場所	主な意見	対応
	なくても歩ける。車椅子では最低でも65cmの有効幅が必要。一枚残して車椅子のタイヤが通る部分を確保するなど考えられる。ただし交通上、人の交差が多いことを実証的に確認できることが必要。人の動きを計測して必要性が示されれば、何か所かそういう部分があってもよい。ずっと連続設置されていると車椅子は必ず段を超えないといけない。理屈を整理して研究してほしい。音声やICTでの誘導も考えられ、技術も出てきているので活用することも考えられる。ちゃんと検討しておかないと事後にまた改善の必要が出る。	
⑧⑨⑩北口・南口ロータリー 	● 当日意見なし。	

場所	主な意見	対応
		
⑪福祉センター付近 	● 当日意見なし。	
⑫その他（オオゼキ前歩道について） 	【安全な通行空間の確保】 ● とにかく危ない。白線の段差で転んだりすると怖い。対向者とすれ違う時などは下に降りて避けることができないので本当に怖い。 ● 歩行者はこの場所は車が通る道だと認識していない。ドライバーにとってはストレスな道。ここは車道ですという案内ができないか。 ● 歩行者の通行空間は、今まで通ってきたので通れると思って進むと、下がるに下がれずトラップ状態。危険だとわかっていれば最初から通らない。直さなくても案内があれば自分としては問題ない。 ● 将来の歩道、車道の幅員、予測交通量はどうなっているか。段差をつけずにフラットにしておいた方が問題が起きないのではないか。ガードパイプで仕切ればよい。工事中はシェードストリートの形にしておいて、整	【まちづくり推進課】 ● <速やかに対応> 段差の注意喚起や道が狭いことの案内表示を行います。また、夏頃に上屋下のルートを開放する予定です。

場所	主な意見	対応
	備後は分離するということも考えられる。ここに段差があること自体は転倒の危険がある。単断面にした方がすっきりする。	
⑬その他（バリアフリートイレについて）	【バリアフリートイレの機能確保】 ● 「だれでも」に自分たちが入っていないことが悲しい。どこにでもつけろとは言わないが、調布市の中心である駅前広場で除外するのはおかしい。福祉センター内に介助ベッドがあるが、移転する際には調布駅前ですべて使える場所がなくなってしまう。その他、団体からは難しいかもしれないが汗だくになるのでトイレに冷暖房が欲しい、自転車の啓発警備員は今後もつけてほしい、という意見が出ている。 ● バリアフリートイレは車椅子が主な対象となっているが、高齢者など、あるいは着替えを必要とする大人も随分いるので、必ず大型のベッドを備えるというのは常識として考えていただきたい。	【環境政策課】 ● ＜今後対応＞ 限られた床面積の中、オストメイト対応設備など、他の設備との兼ね合いを考慮した上で、面積を大きく占める大型ベッドの設置をやむを得ず見送りました。周辺施設への円滑な誘導方法を検討します。

現況(R6.12)



最終形

